

参考資料

校舎改築に関する検討結果まとめ	P. 1
実施設計（配置図・平面図）	P. 3
環境整備工事に係る配置図	P. 6
施設再編整備計画第一次実施プラン（新泉小学校跡地）	P. 7
学園章・学園歌アンケート	P. 8
標準服アンケートと集計結果	P. 9
設置懇談会・部会の開催状況一覧	P. 1 1
協議会ニュース発行一覧	P. 1 5
協議会ニュース（第1号～第9号）	P. 1 6
杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会運営要綱	P. 4 1
新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会委員名簿	P. 4 3

□校舎改築に関する検討結果まとめ

1. 新泉・和泉地区小中一貫教育校校舎改築基本計画案

○基本計画案の主な特徴

(1) 基本コンセプト

＜繋ぐ-「交流プラザ」で連携した学習空間の創造＞

- ・ 新校舎と既存中学校校舎を一体化し、「児童・生徒が」、「教師が」、そして「地域と」繋がる小中一貫教育校とします。

＜児童・生徒を繋ぐ＞

- ・ ラーニングセンターやランチルームなどの小中共用諸室を集約配置した「交流プラザ」によって、小学校と中学校を繋がります。

＜教職員を繋ぐ＞

- ・ 職員室を集約し学校の中心に配置することで、小学校と中学校の教職員の連携を促進します。

＜地域と繋ぐ＞

- ・ 地域との交流の核となる開放施設を設け、地域に愛される施設を目指します。

(2) 配置計画

- ・ 改築部分の小学校の校舎は、まとまった大きなグラウンドを確保し、近隣住宅への影響を少なくする等の理由から、既存中学校校舎の西側に配置します。
- ・ 和泉小学校の芝生グラウンドの伝統を継続するため、既存と同程度の芝生面積を確保します。
- ・ 校舎とグラウンドの間を小中共用の登校動線の軸とし、西側歩行者道路と交通量の少ない東側道路に校門を設置することで児童・生徒の安全を確保した計画としています。
- ・ 敷地外周に残る豊かな植生を可能な限り保存することで、地域の緑環境や景観に配慮した計画とします。

(3) 階構成

- ・ グラウンドや校門を視認できる 1 階に、職員室などの管理諸室と、特別支援教室を配置します。特別支援教室は小中に分離して、それぞれが独自の庭を持つ計画とします。
- ・ 水害対策に配慮し、帰宅困難児童の一時待機場所とすることができる小アリーナと通信拠点に利用可能なラーニングセンターを 2 階に配置します。
- ・ 校舎の南面する部分には 1 階から 3 階まで普通教室を配置し、通風採光に優れた学習環境を確保します。
- ・ 一定の広さと天井高さの必要な武道場兼交流室を最上階の 3 階に設置することで、構造上も合理的な計画としています。
- ・ 近隣への日影の影響に配慮するため、建物高さを抑えることを目的とした各教室の配置を行っています。
- ・ 児童生徒の体格差に配慮し、複数の運動スペースを確保するため、校庭の他に、屋上に運動スペースの設置を検討します。

(4) 平面計画

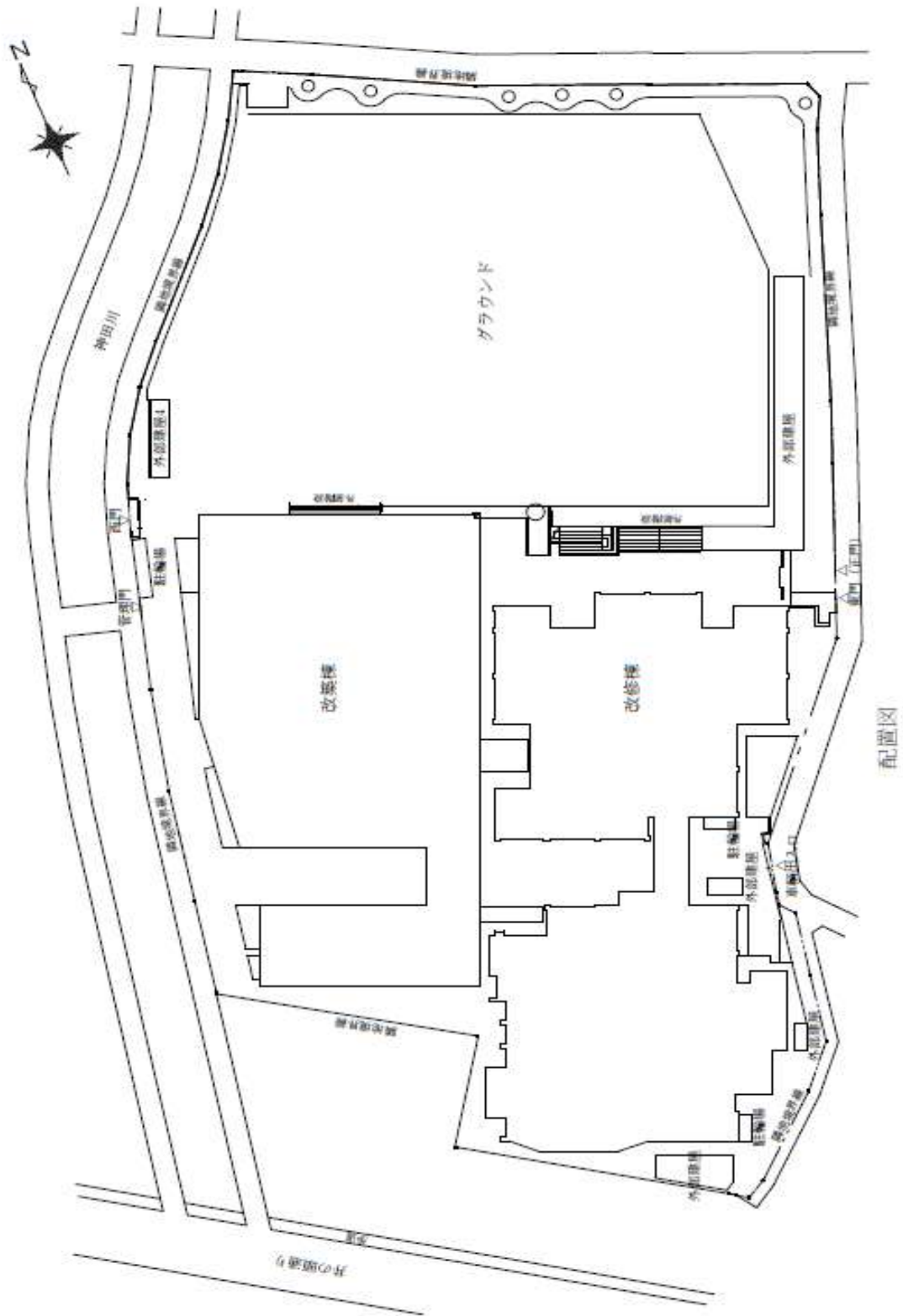
- ・ 学齢の違いによる身体スケールや学習形態の違いに配慮し、1・2年（小学低学年）、3・4年（小学中学年）、5・6年（小学高学年）、中学部のそれぞれに適した普通教室とオープンスペースを計画しています。
- ・ 図書室、コンピュータ室、地域資料室を複合させ、総合学習が可能なラーニングセンターを施設の中心に配置し、小中交流の核として機能させます。さらに、吹抜けを持ったランチルームを隣接させ、「交流プラザ」として機能的な連携を図ります。

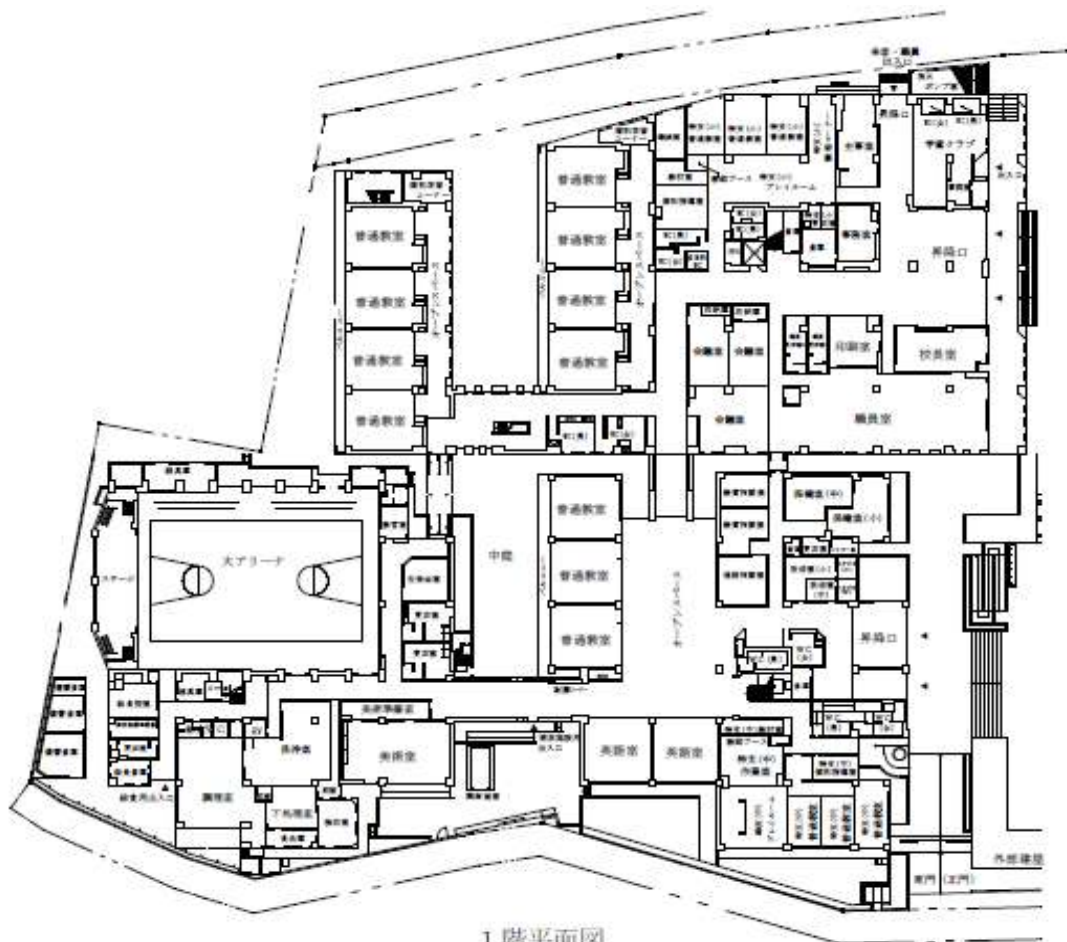
2. 今後の設計に向けた意見・要望

これまでの議論・検討を踏まえ、協議会の中で出された以下の意見・要望については、今後の検討及び設計等の中で、可能な限り配慮していただくよう望みます。

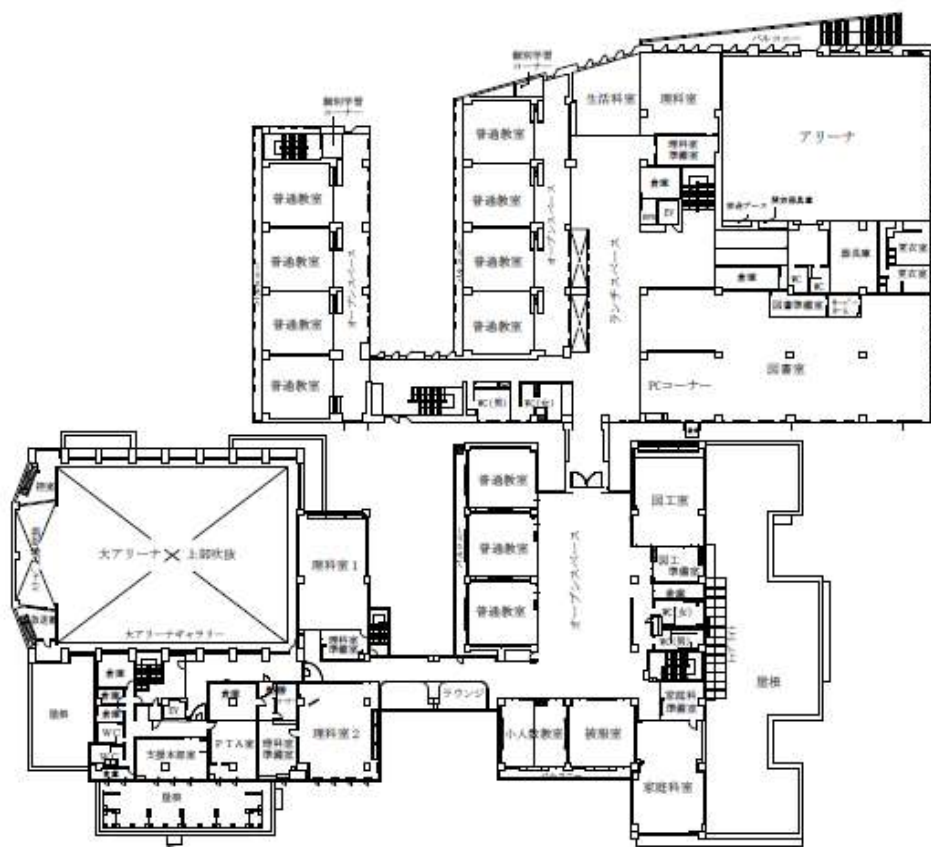
- (1) 和泉小学校は、この10年校庭芝生とともに育ってきました。一貫教育校になってもその理念を忘れず、地域の方々と校庭芝生を育てていきたいので、可能な限り設計でも配慮してほしい。
- (2) 学校は学びの場であると同時に、地域住民の命を守る震災救援所という側面もある。先の震災を受け、地震や浸水に対する対策を万全にしてほしい。
- (3) 普通教室周りのオープンスペース・少人数教室等は、今後の設計の段階で更に詳細を検討してほしい。
- (4) 中学校の改修については、校舎内の採光に配慮してほしい。

□実施設計（配置図・平面図）

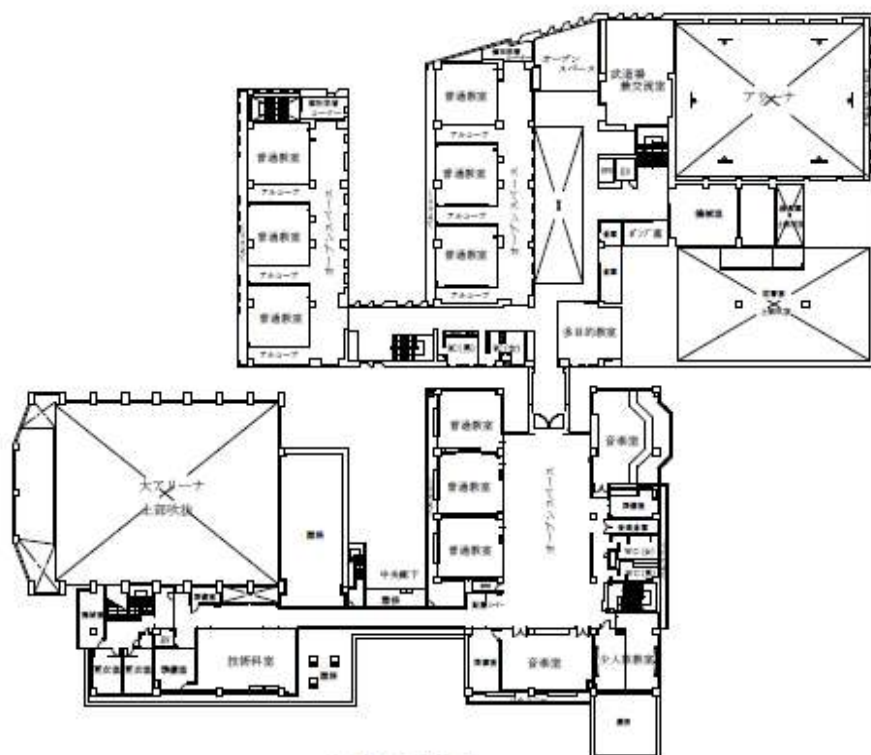




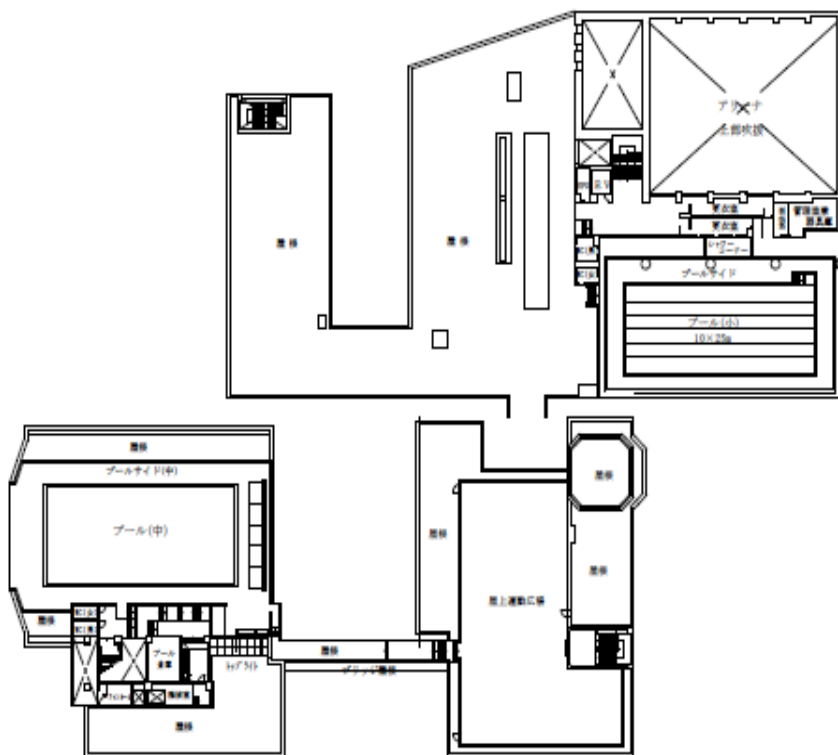
1階平面図



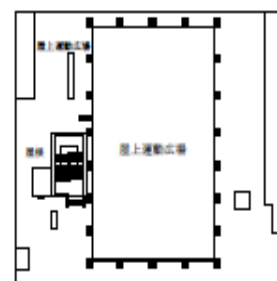
2階平面図



3階平面図

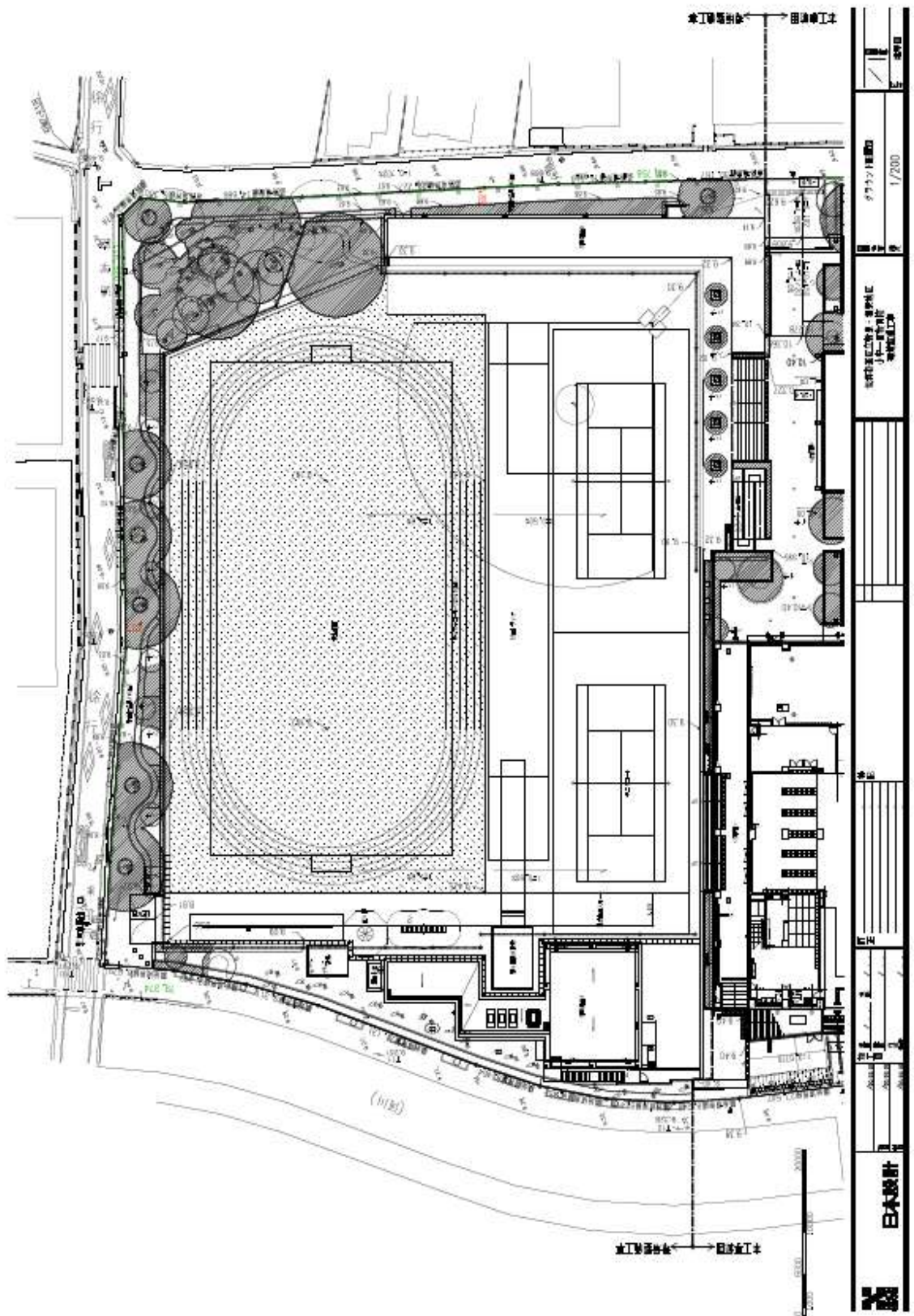


4階平面図



R階平面図

□外構工事に係る配置図



□施設再編整備計画第一次実施プラン（新泉小学校跡地）

統合後の新泉小学校の跡地に関しては防災スペースの確保をはじめ地域の防災機能の強化に資する活用を図ることを前提に、地域のまちづくり、教育福祉の向上等の観点から、用地全体の有効活用策を検討します。

□学園歌・学園章アンケート

1 募集概要

- (1) 募集時期 平成 26 年 2 月 3 日から平成 26 年 2 月 18 日まで
(中学 3 年生は 2 月 28 日まで)
- (2) 募集対象 新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の児童・生徒等
- (3) 周知方法 協議会ニュース第 7 号

2 応募結果

- (1) 応募者数 総数 430 (人)
- (2) 回答形式

形式区分	件数
文字	170 件
絵	43 件
絵と文字	68 件
学園章	115 件
文字と学園章	69 件
合計	465 件

※複数の応募があるため、応募者数と合計が一致しません。

(3) 応募のあったフレーズ・イメージ等

○主なフレーズ・イメージ

No	応募イメージ	応募数	備考 (使用例等)
1	芝生	135	揺れる、輝く、みどりの芝生
2	神田川	69	春の神田川
3	仲良く	53	
4	明るい	51	
5	泉 (和泉)	45	
6	桜	42	桜のトンネル
7	元気 (活気)	38	
8	笑顔	35	みんなの笑顔、笑顔の絶えない教室

○学園歌に対する主な要望

歌いやすいけど、心に残るような歌
3つの学校が仲良くなれるようになりたい
明るい感動するような学園歌

○学園章に対する主な要望

明るい色、元気な感じ
赤のようなあたたかい心になるような色がいい
3校の各校章の一部を入れる

注) この他に絵や学園章 (デザイン) による応募がありました。

(仮称)杉並和泉学園 小学校標準服についてのアンケート

平成27年4月、新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校による区内初の小中一貫教育校（仮称）杉並和泉学園が開校します。小中一貫教育校の中学校については、現和泉中学校の標準服を継続して着用する予定です。

今回のアンケートでは、小学校の標準服について、保護者の皆様のご意見をお伺いしたいと思いますので、ご協力をお願いいたします。

標準服とは

着用について強制ではないものの、学校生活において着用することがふさわしいものという定義です。

※あてはまるものを○で囲んでください。

Q1 小学校の標準服について

① フルセットであったほうがよい → Q2へ

〔 男子：ブレザー、スラックス or 半ズボン
女子：ブレザー、スカート、シャツ 〕

② 一部でもあったほうがよい → Q3へ

〔 帽子、ベスト、学園章バッジ、ブレザー等 〕

③ なくてよい → Q5へ

Q1

回答	件数
①	129
②	86
③	386
計	601

Q2

回答	件数
①	112
②	47
計	159

Q2-1

回答	件数
①	17
②	85
計	102

Q2 Q1で「①フルセットであったほうがよい」と答えた方、どの学年帯から標準服が必要と思いますか？

① 1～6年生	② 5～6年生(1～4年生は不要)

Q2-1 学年帯(例えば、1～4年、5～6年)によって標準服のデザインを分けたほうがよいですか？

① 分けたほうがよい ② 分けないほうがよい

標準服のイメージ



-低・中学年-

他区小中一貫校小学生の標準服

-高学年-

和泉中学校標準服

〈参考：標準服費用〉

- ・他区小学校：3万円弱
- ・和泉中学校(夏ズボン、夏スカート、3年間のお直し代含む)：4万円弱

Q3 Q1で「②一部でもあったほうがよい」と答えた方は次の表の中からお選びください。

(複数回答可)

帽子	
ベスト	
学園章バッジ	
ネクタイ or リボン	
スカート	
スラックス	
半ズボン	
ブレザー	
その他()	

回答	件数
帽子	52
ベスト	9
学園章バッジ	46
ネクタイ or リボン	6
スカート	16
スラックス	9
半ズボン	13
ブレザー	13
その他()	6
計	170

Q4

回答	件数
①	25
②	37
③	41
④	92
⑤	5
計	200

Q4 小学校の標準服として考慮できる金額を一つ選んでください。

- ① 5千円未満 ② 5千円～1万円未満 ③ 1～2万円未満
④ 2～3万円未満 ⑤ 3万円以上

Q5 Q1で「③なくてよい」と答えた方は、その理由をお聞かせください。(複数回答可)

- ①成長期にあり、直ぐにサイズが合わなくなるから。
②こどもの活動から汚れや破損が激しそうだから。
③費用の負担が大変だから。

④その他

()

Q5

回答	件数
①	327
②	259
③	200
計	786

Q6 標準服について、ご意見をご自由にお書きください。

()

お子さんの該当するクラス・学年(兄弟含む)に○をつけてください。

未就学児童：年少・年中・年長

小学校：1年・2年・3年・4年・5年・6年

中学校：1年・2年・3年

*10月11日までに担任の先生に提出してください。



ご協力ありがとうございました。

□設置懇談会・部会の開催状況一覧

開催回	年月日	内容
第1回	平成22年7月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・委員委嘱 ・小中一貫教育の取り組みについて
第2回	平成22年9月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・足立区立新田学園視察
第3回	平成22年10月21日	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区の小中一貫教育について ・小中一貫教育校の教育内容にかかわる基本的な考え方について
第4回	平成22年12月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校の教育内容にかかわる基本的な考え方について ・設計事業者の選定について
第5回	平成23年2月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・プロポーザル実施状況について ・小中一貫教育について
第6回	平成23年5月23日	<ul style="list-style-type: none"> ・新泉・和泉地区小中一貫教育校建築基本設計業務の概要について ・新泉・和泉地区小中一貫教育校の校舎建設等に係る基本設計事業者の選定結果について
第7回	平成23年6月6日	<ul style="list-style-type: none"> ・杉並区立松溪中学校、天沼小学校視察
第8回	平成23年6月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・第7回協議会（視察）の意見
第9回	平成23年8月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・設置協議会委員の変更について ・小中一貫教育校平面計画について
第10回	平成23年9月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校平面計画について ・校名・校歌・校章等の検討方法について
第11回	平成23年11月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・設置協議会中間報告書（案）について ・他自治体小中一貫教育校の校名・校歌・校章等の選定方法について
第12回	平成24年1月30日	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校の校名決定に関する委員意見について ・特色ある学校づくり（小中一貫教育）について ・小中一貫教育校建設に係る工事スケジュール等について

開催回	年月日	内容
第 13 回	平成 24 年 3 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育校の校名に関する協議会委員アンケート結果について ・まちづくり条例に基づく新泉・和泉地区小中一貫教育校基本設計説明会の開催結果について
第 14 回	平成 24 年 5 月 29 日	<ul style="list-style-type: none"> ・今後の協議会のスケジュールについて ・学園名・小中学校名の選定方法について
第 15 回	平成 24 年 7 月 26 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学園名・小中学校名の選定について
第 16 回	平成 24 年 9 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学園名・小中学校名の選定について
第 17 回	平成 24 年 11 月 7 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学園名・小中学校名の選定について
第 18 回	平成 25 年 2 月 5 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学園名・小中学校名の選定について ・小中一貫教育校建設に係る工事スケジュール等について
第 19 回	平成 25 年 3 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 24 年度設置協議会における検討について ・平成 25 年度以降の設置協議会における検討課題について
第 20 回	平成 25 年 5 月 13 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学園章・校章について ・学園歌・校歌について ・標準服・標準持ち物について ・地域資料コーナーの展示物について
第 21 回	平成 25 年 7 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計について ・学園章・学園歌等について ・標準服について ・地域資料コーナーについて
第 22 回	平成 25 年 8 月 27 日	<ul style="list-style-type: none"> ・学園章・学園歌について ・標準服について
第 23 回	平成 25 年 10 月 28 日	<ul style="list-style-type: none"> ・通学区域について ・標準服について ・学園歌・学園章の制作について
第 24 回	平成 26 年 1 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級の学区域について ・学園歌の制作について ・学園章の制作について ・地域資料コーナーの活用について

開催回	年月日	内容
第 25 回	平成 26 年 3 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園歌・学園章アンケート結果について ・ 学園歌の制作について ・ 学園章の制作について ・ 地域資料コーナーの活用について
第 26 回	平成 26 年 6 月 20 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成 26 年度における課題とスケジュールについて ・ 新しい通学路について ・ 学園章の制作について
第 27 回	平成 26 年 9 月 19 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学園章の制作について ・ 新しい通学路について ・ メモリアル映像化について
第 28 回	平成 26 年 12 月 17 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後のスケジュールと環境整備工事等について ・ 開校後の学校行事等について ・ 設置懇談会記録（案）について

【部会】

校庭部会 第 1 回	平成 23 年 7 月 9 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 部会長の選出について ・ 一貫教育校校庭に関する課題等の確認について ・ 今後の部会の進め方について
校庭部会 第 2 回	平成 23 年 8 月 1 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一貫教育校校庭について ・ 中学部活動の現状について

標準服検討部会 第 1 回	平成 25 年 8 月 16 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準服の導入について
標準服検討部会 第 2 回	平成 25 年 9 月 18 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準服のアンケート実施について
標準服検討部会 第 3 回	平成 25 年 10 月 22 日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 標準服のアンケート結果について

開催回	年月日	内容
地域資料検討部会 第1回	平成25年8月27日	・展示資料コーナーの活用について
地域資料検討部会 第2回	平成25年11月29日	・展示資料コーナーの活用について
地域資料検討部会 第3回	平成26年3月12日	・記録の映像化について ・展示資料コーナーのレイアウトについて
地域資料検討部会 第4回	平成26年11月6日	・記録の映像化について ・展示資料コーナーのレイアウトについて ・展示資料コーナーの開校後の活用について

学園章検討部会 第1回	平成25年12月12日	・学園章の制作方法について ・アンケートの実施について ・今後のスケジュールについて
学園章検討部会 第2回	平成26年3月7日	・アンケート結果について ・制作イメージについて
学園章検討部会 第3回	平成26年5月23日	・学園章デザイン案について
学園章検討部会 第4回	平成26年8月27日	・学園章デザイン案について

通学路検討部会 第1回	平成26年7月4日	・通学路について
通学路検討部会 第2回	平成26年7月31日	・通学路について（実地踏査）
通学路検討部会 第3回	平成26年8月21日	・新しい通学路について

□協議会ニュース発行一覧

No	発行年月	主な内容
【創刊号】	平成 22 年 8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・設置協議会の設置について ・3校における小中一貫教育の取り組みについて
【第2号】	平成 23 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・教育内容にかかわる基本的な考え方について ・設計者の選定について
【第3号】	平成 23 年 7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい学校の設計者の決定について ・第7回協議会（視察）に対する意見について
【第4号】	平成 24 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・設置協議会中間報告書（案）について
【第5号】	平成 24 年 11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学園名・小中学校名のアンケート募集について
【第6号】	平成 25 年 3 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学園名・小中学校名の選定について
【第7号】	平成 26 年 2 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学園歌、学園章について ・標準服について
【第8号】	平成 26 年 11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学園章について ・地域資料コーナーについて ・新しい通学路（案）について
【最終号】	平成 27 年 1 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学園歌について ・懇談会の閉会について

創刊号

新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置協議会ニュース

杉並区教育委員会は、義務教育9年間を通して一貫した教育活動を図るとともに、学校の適正規模を確保して、児童・生徒に望ましい教育環境を提供していくため、平成22年5月に「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置計画(新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の統合)」を策定しました。

このたび、施設一体型「小中一貫教育校」の開校に向けて準備を進めていくため、3校の地域関係者、保護者及び校長等で構成する「小中一貫教育校設置協議会」を設置しました。

このお知らせは、「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会」の協議内容等について、保護者や地域の皆さまへお知らせするために創刊しました。今後も協議に合わせて継続して発行していきます。

●●「小中一貫教育校」とは

小中一貫教育校とは、小・中学校の施設、組織・運営を一体化し、児童・生徒、教職員が同一の敷地・校舎で学校生活を共にしながら、義務教育9年間を通して連続した教育活動を行う学校のことをいいます。

参考資料 P.45

★ 区内初 ★ 施設一体型「小中一貫教育校」の開校に向けて

対象校

新泉小学校
(所在地 : 和泉1-44-26)
和泉小学校
(所在地 : 和泉2-17-21)
和泉中学校
(所在地 : 和泉2-17-14)

開校場所

現在の和泉小学校・和泉中学校の校地

開校予定時期

校舎の改築・改修、特色ある教育課程の編成等を行う必要があることから、計画策定から5年後の、平成27年4月とします。

◎第1回協議会を開催しました

第1回協議会は、平成22年7月23日に和泉中学校で開催されました。井出教育長の挨拶、出席者の自己紹介に続き、会長・副会長の選任を行い、会長に和泉中学校の由井校長が、副会長に新泉小学校の鶴巻校長が選出されました。

新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会委員

※◎は会長、○は副会長

役職等	氏名	役職等	氏名
町会及び自治会代表	宮川 肇	和泉中学校保護者	高橋 真実
	梅田 利雄		岡本 千恵子
	内藤 一郎		久保田 知子
	大野 博康		田中 博幸
学校支援本部	白滝 一紀	学校関係者	藤原 聡
	前原 眞智子		江口 由利子
	吉橋 正美		長田 恵美子
	伊藤 歩		新泉小学校校長
新泉小学校保護者	佐川 智子	和泉小学校校長	相馬 季子
	井上 眞弓	和泉中学校校長	◎由井 良昌
	小山 資奈子	新泉小学校副校長	田邊 克宣
和泉小学校保護者	川原 玲子	和泉小学校副校長	佐野 篤
	智原 眞弓	和泉中学校副校長	比嘉 朝明
	松岡 智子		中島 好招
		教育委員会事務局 教育改革担当部長	渡辺 均



教育長 井出 隆安

小中一貫教育にはモデルがないので、新泉・和泉地区にかかわる方々で知恵を寄せ合い、自分たちの力で自分たちの学校をつくっていくという意識で一緒に取り組んでいただければと思います。そして、出来上がったときに、他に自慢できる、卒業していく子どもたちが本当にこの学校で学べてよかった、と思えるような学校をぜひつくってきたいと考えています。



続いて、3校の校長から各校の小中一貫教育の取り組みについて説明が行われ、その後、会議の進め方、次回以降の議題について話し合われました。第2回は、今年度4月に施設一体型「小中一貫教育校」として開校した、足立区立新田学園を視察します。

新泉小学校校長

3校は、これまでの小中一貫教育の取り組みによる成果を土台に、新しい学校づくりという視点で一歩進み始めたところです。

新泉小は2校とは離れたところにありますが、何度も足を運び、交流を深めていければと思います。

和泉小学校校長

今年度は、3校の教員の合同研修を重ね、教科ごとの話し合いを進めて具体化を図るなど、教員の交流を頻繁に行っています。

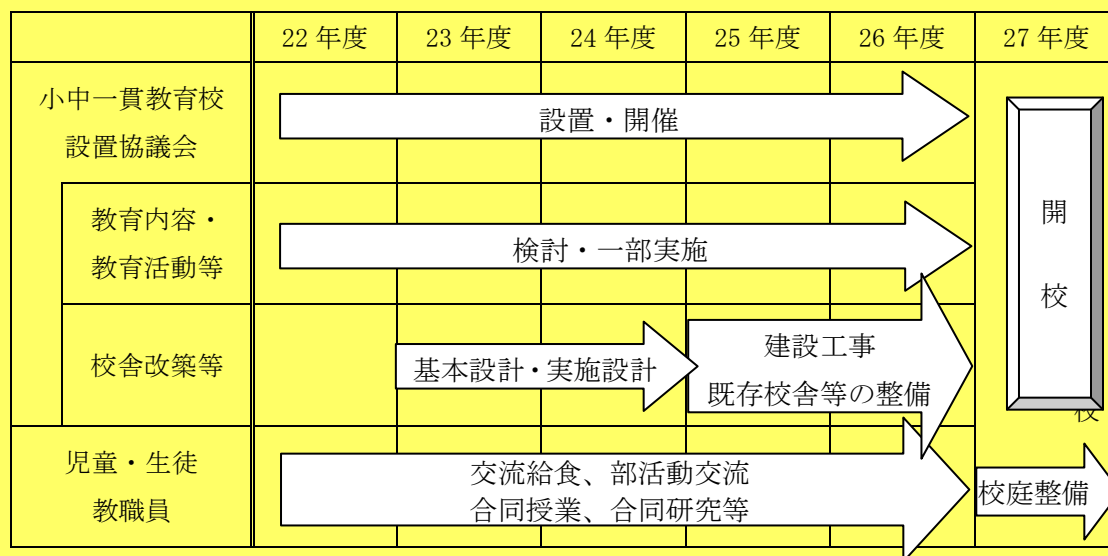
和泉小は学校に対する関心を高めてもらうために、ホームページを毎日更新し、情報発信を行っています。

和泉中学校校長

3校は、研究授業などを通し、協力体制が整ってきたところです。

和泉中では、生徒にさまざまな学ぶ機会を与え、その中で生徒のいいところを引き出し、そしてそのいいところを広く多くの方にお見せしていきたいと思っています。

◎開校までのスケジュール



◎傍聴を希望される方へ

会議は原則公開です。傍聴は自由ですが、会場の都合上、事前に申し込みが必要となります。ただし、出席委員の過半数の決定により、非公開とすることもあります。

傍聴を希望される方は、以下問い合わせ先へご連絡ください。

問い合わせ先

- ◆ 教育改革推進課小中一貫教育担当 03-3312-2111(代表)
- ◆ 新泉小学校(副校長) 03-3322-4251
- ◆ 和泉小学校(副校長) 03-3322-4254
- ◆ 和泉中学校(副校長) 03-3322-7671

❁ 協議会日程 ❁

☆ 第2回協議会

- ・ 開催日：9月15日(水)
- ・ 会 場：足立区立新田学園
- ・ 内 容：現地視察

☆ 第3回協議会

- ・ 開催日：10月下旬(予定)
- ・ 会 場：新泉小学校
- ・ 内 容：小中一貫教育について

※視察は傍聴することができません。

新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース(創刊号)
平成22年8月発行

杉並区教育委員会事務局教育改革推進課小中一貫教育担当
TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692
Eメール kyoiku-kaikaku@city.suginami.lg.jp

※ 第1回協議会の資料は、教育委員会ホームページに掲載しています。
会議録については、9月1日以降に掲載する予定です。
教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

第2号

新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置協議会ニュース

☆ 区内初！新しい学校の設計者を 公募型「プロポーザル」方式で選びます。

小中一貫教育校の基本設計にあたっては、杉並区の目指す小中一貫教育について理解し、高い技術と豊富な経験を有し、もっとも適した設計者を選ぶため、学校建築では区内初となるプロポーザル方式により設計候補者を選定します。

プロポーザルとは

契約の相手を選ぶために、複数の応募者から、あらかじめ提示した条件に基づいて企画を提案してもらい、これを審査することにより、最も優れた候補者を選ぶ方法です。

■■ 設計に関する基本的な考え方 ■■

- ① 区内初の小中一貫教育校として、これまで検討してきた小中一貫教育の内容を活かす設計とする。
- ② 現在の和泉中学校の校舎を改修し、新校舎に接続する。
- ③ 特別支援学級を小中学校に設置する。
- ④ 学童クラブを敷地内に設置する。
- ⑤ エコスクール化とユニバーサルデザインに配慮する。

☆ 提案された新しい学校を見てみませんか？ — 公開プレゼンテーションを行います —

平成23年1月4日から応募事業者の受付を開始し、学識経験者など6名で構成される選定委員会の第一次審査（書類審査）で17者の中から4者が選ばれました。第二次審査では、この4者によるプレゼンテーションと選定委員によるヒアリングを行い、最優秀者を選びます。プレゼンテーションとヒアリングは一般公開しますので、ぜひ、会場へお越しください。なお、審査は非公開となります。

日時

平成23年3月13日(日)

午後1時～5時(予定)

開場:午後0時30分

会場

和泉中学校体育館 ※暖房あり

詳細(プロポーザル実施要領)は、杉並区ホームページをご覧ください。

「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会」は、新泉小・和泉小・和泉中の地域関係者と保護者、校長などで構成され、平成 27 年 4 月の小中一貫教育校の開校に向けたさまざまな課題について協議しています。

第 2 回協議会では、平成 22 年 4 月に小中一貫教育校として開校した足立区立新田学園を視察しました。

☆ 「教育内容にかかわる基本的な考え方」 を決定しました。

第 3 回及び第 4 回の協議会において、「新泉・和泉地区小中一貫教育校の教育内容にかかわる基本的な考え方」について議論し、次のとおり決定しました。

◇ コンセプト ◇

学校、家庭、地域が力を合わせ、
児童生徒の夢を実現するための力を伸ばす。

◇ キャッチフレーズ ◇

小中一貫教育校で伸ばす！夢を実現するための力
遠くの学校より近くの小中一貫教育校

—— 方針 ——

- (1) 9年間を見通した一貫した指導を展開し、児童生徒一人ひとりの学力や体力を着実に向上させるとともに、豊かな人間性を育む。
- (2) 小中学校教員の相互理解や切磋琢磨、創意工夫を活かすとともに、各種調査や学校評価等の検証に基づいた、教育活動、指導法等の工夫・改善を進める。
- (3) 家庭、地域との連携、協力を一層深め、地域と協働した学校づくりを推進する。

—— 重点 ——

- (1) 小中一貫したカリキュラムによる連続した学習指導の展開
- (2) 児童生徒のふれあいを中心にした豊かな人間性の育成
- (3) 運動の日常化による体力の向上
- (4) 社会への貢献活動、地域との協働による教育活動の一層の充実

新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース(第2号)

平成 23 年 2 月発行



杉並区教育委員会事務局教育改革推進課小中一貫教育担当

TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692

E メール kyoiku-kaikaku@city.suginami.lg.jp

※ 協議会の資料は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置協議会ニュース

第3号

新しい学校の設計者が決まりました

学校建築で区内初の公募型プロポーザル方式で選定

平成23年3月26日(土)、第一次審査(書類審査)で選ばれた4者が公開プレゼンテーションを行い、6名の選定委員の評価により最優秀者に”株式会社 日本設計”が選定されました。

小中一貫教育校のコンセプト

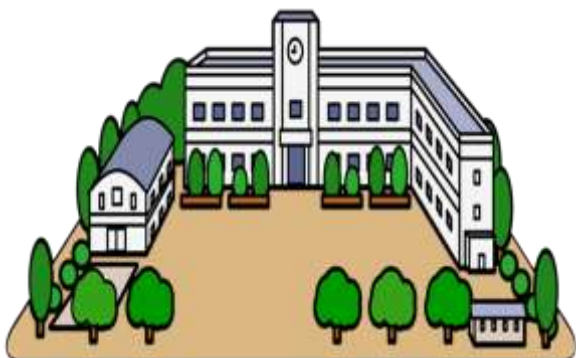
学校、家庭、地域が力を合わせ、
児童生徒の夢を実現するための力を伸ばす



「株式会社 日本設計」は

区のコンセプトを基本に新校舎と既存中学校校舎を一体化し、「児童・生徒が」「教師が」、そして「地域と」繋がる小中一貫教育校を提案しています。交流プラザを配置して連携、接続を強調しています。

今後、協議会ではこの設計事業者とともに基本設計をまとめていきます



※このプロポーザル選定結果と選定委員会上野淳委員長の講評は区公式ホームページ、教育委員会ホームページに掲載しています。

第6回協議会から ～ 平成23年5月23日(月) 新泉小学校 ～

- ・ 新年度を向え、PTA 役員の交代などで委員の入れ替えがあり、7 名の方が協議会委員に委嘱され、新たな 29 名で小中一貫教育校のための検討が進められます。



「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会」新委員(7名)

(敬称略)

役職	氏名		
保護者	加賀美 桜子	榎野 ちなみ	芋川 由紀子
	鈴木 恭子	羽鳥 敦子	
学校関係者	池田 弘彦		
副校長	小澤 伸生		

- ・ 基本計画検討のためにアドバイザーとして、首都大学東京副学長の上野淳先生。杉並区都市計画審議会委員の村上美奈子先生のお二人をお招きしました。今後の学校建設についての考え方、課題について映像を見ながらわかりやすくお話していただきました。

委員の意見



- ・ 既存中学校をどう生かして、何を残していくかが大切である。
- ・ 防災基点として、近隣にとって大切な位置づけとなっている「震災救援所」についても考慮する必要がある。
- ・ 神田川に隣接しているので、水害が心配。
- ・ 校庭の芝生化は和泉小学校での実績もあるので、使い方も含めて考えてほしい。
- ・ 学校の使い勝手が第一優先だが、和泉中は校庭も体育館も一般の利用者が多く、これらを含めてどのように使っていくのか多角的な研究が必要。



第6回 協議会の様子



委員の皆さんからのさまざまなご意見を新しい一貫校へ向けて検討を重ね、ひとつのかたちにしていきます。

第7回協議会から

～ 平成23年6月6日(月) ～

区内で改築された松溪中学校、天沼小学校の2校を視察

協議会では基本計画検討のために、新しい小中一貫校建設をよりよいものにしていくために視察を実施しました。

各委員は中島校長先生、山内副校長先生の説明に耳を傾け、熱心に見学しました。



屋内運動場

松溪中学校、天沼小学校はエコスクール（環境共生型学校）として、「太陽光パネル」、「屋上緑化」など環境に配慮した工夫がされています。

松溪中学校

多摩産材をふんだんに使ったやさしいぬくもりの空間、少人数対応可能な大小のスペース、広々とした「屋内運動場」、遮熱効果のある屋上プール、広くて明るいランチルームなどを見学させていただきました。

天沼小学校

学校の中心には「調べ学習の拠点」となるラーニングセンター（図書室・パソコン室）。地下1階には多様に利用されているランチルーム兼用のセンターコート、2階の風のテラスなど工夫がいっぱい、最新の小学校を見学させていただきました。



風のテラス



視察後の意見



- ・ デザインと使い勝手の融合を図ってほしい。
- ・ 色合いが明るくてやさしい感じの配色がよかった。室内の色合いも大切。
- ・ エコスクールの機能を十分考慮して取り入れてほしい。
- ・ 水廻りが多く、機能的で、大人数で使用できるのがよいと思う。

第8回協議会から ～ 平成23年6月24日(金) 和泉小学校 ～

前回6月6日の視察で、委員の皆さんからいただいたご意見をまとめ、報告させていただきました。この報告をもとに意見交換した結果を一部抜粋してお知らせします。

- ・ 中学校は改修のみになるので、生徒が行きたくなるような魅力的な学校になるか心配、工夫が必要。
- ・ ふたつの学校は屋上に緑化、芝生化をしていましたが、手入れの難しさを感じました。屋上の芝生化はあまり好ましくないと思います。
- ・ 屋上に太陽パネルが設置され、小学校では屋根のような形で雨の日にも子どもが利用できるようになっていました。屋上利用は運動場の確保と緑化の両面で考えていく必要があります。
- ・ 小中一貫校になりますと、ひとつの校庭を小学生、中学生が一緒に利用するようになり、中学生の部活動、一般の方や登録団体の利用など使方もいろいろあります。芝生化とあわせて検討が必要です。



第8回協議会では、教室の配置などの平面計画とあわせて、現在の和泉小学校の芝生の継続についても校庭利用を考慮した検討も必要ということになり、10名の委員（下記参照）からなる「校庭部会」を設置しました。

「校庭部会」委員

(敬称略)

役職	氏名	氏名	氏名
学校支援本部	吉橋 正美	伊藤 歩	
保護者	佐川 智子	梶野 ちなみ	江口 由利子
学校関係者	藤原 聡	池田 弘彦	
学校	小澤 伸生	相馬 季子	中島 好招

★第1回「校庭部会」7月9日開催される。

〔 第2回は 8月1日(火)
和泉小学校で午後3時から開催予定。 〕



新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース(第3号)

平成23年7月発行

杉並区教育委員会事務局教育改革推進課小中一貫教育担当

TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692

Eメール kyoiku-kaikaku@city.suginami.lg.jp

※ 協議会の会議録は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

新泉・和泉地区小中一貫教育校 第4号 設置協議会ニュース

杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校の開校に向けて 設置協議会中間報告書



平成 22 年7月に設置された協議会は新泉・和泉地区小中一貫教育校の平成 27 年 4 月の開校にむけて、協議を重ねてきました。

新しい校舎の配置等については、3月に公募型プロポーザル方式で選定された設計者ととも検討を進め、施設一体型小中一貫校の基本設計として「平面計画(案)」をまとめ、第 11 回協議会で中間報告書(案)を提出、了承されました。

今後は詳細な設計となる実施設計へと進め、開校に向けてさらに計画を進めていきます。



新しい学校の平面計画が決定！

中間報告の内容の一部をお知らせします。

- ◆今までの図書室・パソコン室の役割をもたせた「ラーニングセンター」を 2 階に設置し、小学生・中学生の交流スペースとして活用します。
- ◆3 階に新しく「武道場」を設置します。武道以外に「交流室」としても利用します。
- ◆校庭芝生の養生期間に利用できるように、運動スペースを屋上に設置します。
- ◆中学校にも「特別支援学級」を設置します。
- ◆水害が発生した際に避難所として対応できるように 2 階に「アリーナ」とその近くに「備蓄倉庫」を設置します。

(詳細は教育委員会ホームページに掲載を予定)



<1 階部分>

新泉・和泉地区3校合同お弁当給食(第2回)

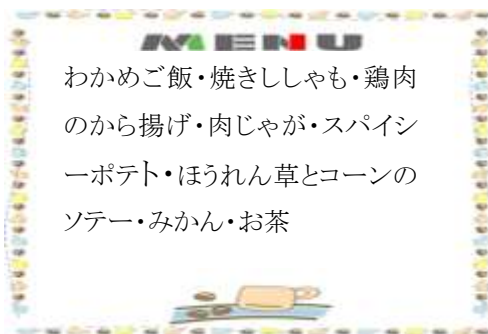
～ 平成23年10月31日 和泉小学校の校庭 ～

第2回目をむかえた3校合同のお弁当給食が大変暖かい良いお天気のなか、行われました。

小学生、中学生と一緒にひとつの輪になって、和泉小の芝生のうえで、「AUB2011(圧倒的にうまいべんとう)」を食べながら、楽しい時間を過ごしました。



この3校合同お弁当給食は、新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校により、小中一貫校へ向けての協力と取り組みによって開催されています。



これからの協議会



これからの協議会の活動は新泉小学校、和泉小学校の2小学校と和泉中学校1校がひとつの新しい学校になるために、「校名・校歌・校章」などについてひとつずつ、みなさんとさまざまな意見を出し合い、確認しながら決めていきます。

協議会での検討内容については、その都度、教育委員会ホームページに掲載していきます。ぜひご覧ください。



新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース(第4号)

平成24年1月発行

杉並区教育委員会事務局教育改革推進課小中一貫教育担当

TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692

Eメール kyoiku-kaikaku@city.suginami.lg.jp

※ 協議会の会議録は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置協議会ニュース 第5号

発行 新泉・和泉地区小中一貫校設置協議

杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校の開校に向けて

新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校は、平成 27 年4月に区内では初となる『施設一体型小中一貫教育校』として、現在の和泉小学校と和泉中学校の校地に開校します。

協議会ニュースは、「新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会」における協議の状況をお知らせするために発行しています。



学園名・小中学校名の アンケートにご協力ください



平成 24 年 11 月に開催した第 17 回協議会において、新しく開校される新泉・和泉地区小中一貫教育校の名称(以下、「学園名※」)と小中学校名について協議して、地域の皆さんからのご意見をお聞かせいただき、その結果を参考に協議会で引き続き検討することに決定しました。

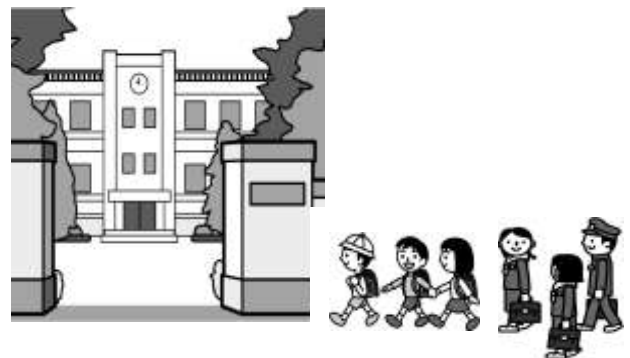
小学校と中学校を総称する『学園名』と小中学校名の組合せについてアンケートを行います。応募方法等については、中面の募集要領をご確認の上、応募してください。

なお、学園名等の正式な決定は、協議会で候補名を選定した後、教育委員会に報告し、承認を得ます。小中学校名については、最終的に区議会が決定することになります。

※学園名

施設一体型の小中一貫教育校の呼称です。開校後は、一般的に学園名を使用することになります。

なお、小学校名や中学校名は、卒業証書や出席簿などに使用します。



今回の協議会ニュースは、新泉小・和泉小・和泉中学校の通学区域内にあるお宅へ戸別配布しています。

募集要領



1 募集内容

新泉・和泉地区小中一貫教育校の学園名・小中学校名

次の①から④までの中から、最もふさわしいと思われる組合せ案の記号を1つ選択し、よろしければその選択理由についてもお聞かせください。

- 【組合せ案】
- | | | | | | |
|---|-------------------------------|---|--------------------------------|---|--------------------------|
| ① | 杉並和泉学園 <small>すぎなみいずみ</small> | — | 新泉和泉小学校 <small>しんせんいずみ</small> | — | 和泉中学校 <small>いずみ</small> |
| ② | 新泉和泉学園 <small>しんせんいずみ</small> | — | 和泉小学校 <small>いずみ</small> | — | 和泉中学校 <small>いずみ</small> |
| ③ | 新泉和泉学園 <small>しんせんいずみ</small> | — | 新泉和泉小学校 <small>しんせんいずみ</small> | — | 和泉中学校 <small>いずみ</small> |
| ④ | 新和泉学園 <small>しんいずみ</small> | — | 新泉和泉小学校 <small>しんせんいずみ</small> | — | 和泉中学校 <small>いずみ</small> |

これまでの協議会における学園名・小中学校名に関する主な意見等

- ・ 地域にある学校ということから、地域名である和泉を使いたい。
- ・ 新泉小学校は、歴史が長く、地域の思い出も強い。新泉の名を学園名もしくは小学校名に残したい。
- ・ 「和泉学園」「いずみ学園」は、他地域で既にあるため重複は避けたい。
- ・ 全く新しい名という考えもあるが、地域の多くのひとが納得できる名が思いつかない。



学園名・小中学校名案	候補とした理由
杉並和泉学園	学園名は地域名がふさわしい。和泉学園が他の地域にあり、また杉並区で最初の施設一体型小中一貫教育校となることから杉並を加えた。
新泉和泉学園	地域で愛着のある学校名を、学園名にその想いを引継ぐ。
新和泉学園	新泉と和泉を合わせ、また新たに和泉の地にできることをイメージした。
新泉和泉小学校	地域で愛着のある2つの小学校を、新しい小学校名にその想いを引継ぐ。
和泉小学校	地域名がわかりやすい。中学校名と同じ学校名が望ましい。
和泉中学校	地域名がわかりやすく、中学校名はそのままだが望ましい。

2 募集期間

平成24年11月28日(水)から

平成24年12月21日(金)まで

※郵送による応募の場合は、平成24年12月21日の消印まで有効とします。



3 応募できる方

新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の通学区域内にお住まいの方、若しくは新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校に在学している方(保護者を含む)です。

※お一人につき1回の応募とします。

4 応募方法

左記 1 の①から④までの組合せ案から、最もふさわしいと思われる記号1つとその理由、及び 必ず住所、氏名、通学区域外の在校生は学校名を記入のうえ、郵送・FAX・Eメールのいずれかにより応募先へお寄せください。

様式は、特に問いません。例として、このページの下に応募様式例を掲載しております。郵送の場合は、キリトリ線で切って、はがきにはがれないように貼ってご使用ください。

5 候補選定

アンケートの結果を参考に協議会で学園名・小中学校名の候補を選定します。

※応募数の多寡のみではなく選択理由などを含め、協議会で検討して選定することとします。

応募先・問い合わせ先

杉並区教育委員会事務局学校支援課計画調整担当

住 所 〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目15番

F A X 03-5307-0692

電 話 03-3312-2111(代表) 内線1647

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp

※応募された内容に関しては、学園名・小中学校名の選定以外には使用いたしません



【応募様式例】

キリトリ

新泉・和泉地区小中一貫教育校の学園名・小中学校名(アンケート)

あて先 杉並区教育委員会事務局 学校支援課 計画調整担当 行

ふさわしいと思う組合せ案	※組合せ案の記号(①~④)を1つ記入してください。
選 択 理 由	
住 所	※通学区域外の在校生は [学校名 _____ 学校]
氏 名	

※通学区域外の方で、新泉小・和泉小・和泉中学校の在校生は、学校名を記入してください。

新年度の協議会について



平成 24 年度にPTA役員の交代などで委員交代があり、新たに8名が協議会委員に委嘱され、小中一貫教育校開校に向け、検討を進めております。



協議会の様子

(敬称略)



	新委員	前委員
新泉小学校PTA	峰尾 美弥子 竹内 恵里香	佐川 智子 井上 眞弓
和泉小学校PTA	小俣 梢 小林 和子	芋川 由紀子 鈴木 恭子
和泉中学校PTA	田附 千賀子 小林 智草	久保田 知子 羽鳥 敦子
学校関係	木村 恵子(新泉小学校校長)	鶴巻 景子
教育委員会事務局	玉山 雅夫(学校教育担当部長)	渡辺 均

ご存知ですか?



3校の校名の変遷 (各校のホームページより)

【新泉小学校】 大正 14 年 豊多摩郡大宮尋常小学校和泉分教場として授業開始
 大正 15 年 豊多摩郡和泉尋常小学校として独立開校
 昭和 7 年 東京市和泉尋常小学校と校名変更
 昭和 18 年 東京都新泉国民学校と校名変更
 昭和 22 年 杉並区立新泉小学校と校名変更

【和泉小学校】 昭和 33 年 杉並区立新泉小学校の中に和泉分校として設置
 昭和 34 年 東京都杉並区立和泉小学校として開校

【和泉中学校】 昭和 33 年 東京都杉並区泉南中学校分校設立
 昭和 34 年 東京都杉並区立和泉中学校として独立



新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース(第5号)
 平成 24 年 11 月発行

杉並区教育委員会事務局学校支援課計画調整担当
 ※平成 24 年4月組織改正により担当課名が変更となりました。
 TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692
 Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp

※協議会の会議録や資料は、教育委員会ホームページに掲載しています。
 教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置協議会ニュース

第6号



発行 新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会

新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校は、平成 27 年4月に区内で初となる『施設一体型小中一貫教育校』として、現在の和泉小学校と和泉中学校の校地に新たに開校します。この度、設置協議会において、学園名・小中学校名の候補が決まりましたのでお知らせいたします。

学園名・小中学校名の候補が決定!!

学園名 **杉並和泉学園**

小学校名 **新泉和泉小学校**

中学校名 **和泉中学校**

月

日

(

)

「設置協議会ニュース第5号」でお知らせしましたとおり、設置協議会において新しく開校される新泉・和泉地区小中一貫教育校の名称(以下、「学園名」と小中学校名について協議を重ね、設置協議会が考える学園名等の組合せ案に対する地域の皆さんのご意見をいただきました。2月5日(火)の第 18 回設置協議会において、いただいたご意見を参考にして検討した結果、学園名の候補を『杉並和泉学園』に、小学校の校名候補を『新泉和泉小学校』に、中学校の校名候補を『和泉中学校』に決定しました。

2月 13 日(水)の教育委員会に報告しました。今後、開校に向けて条例改正など正式な決定の手続を進めます。

※開校後は、一般的に学園名を使用します。

なお、小学校名や中学校名は、卒業証書や出席簿などに使用します。



意見公募について

小学校と中学校を総称する『学園名』と小中学校名の組合せについて、地域から意見を募集しました。設置協議会ニュース第5号を新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校の通学区域に全戸配布したほか、駅スタンドや地域区民センター等でも配布し、平成24年11月28日から同年12月21日までの間、募集を行ったところ、232件(有効数224件)の応募をいただきました。たくさんのご応募ありがとうございました。集計結果は以下のとおりです。

集計結果（応募の多い順）

組合せ案	集計	主な理由
杉並和泉学園 新泉和泉小学校 和泉中学校	90件	<ul style="list-style-type: none"> ・「杉並」が付いているのが良い。 杉並区の学校だと分かりやすく、杉並区のアピールになる。 区内最初の小中一貫教育校なので付けた方がよい。 ・わかりやすい。言い易い。 ・地域名が良い。特に学園名は地域性のある名称が良い。 ・小学校名に両校の校名を残せる。
新泉和泉学園 和泉小学校 和泉中学校	54件	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校名と中学校名は同じが良い。 ・重複しないシンプルな組合せだからすっきりしてわかりやすい。 ・歴史ある新泉の名を学園名に残したい。 ・和泉小学校の名を残したい。
新泉和泉学園 新泉和泉小学校 和泉中学校	47件	<ul style="list-style-type: none"> ・新泉・和泉の名を残したい。 ・3校の名を残したい。 ・卒業した学校の校名を残したい。
新和泉学園 新泉和泉小学校 和泉中学校	33件	<ul style="list-style-type: none"> ・新たなイメージ、沸きあがるイメージを感じる。 ・わかりやすい。言い易い。 ・小学校名に2つの校名が残る。



これからの設置協議会において、平成25年度は、学園歌や校章、通学路などについての話し合いを予定しています。

協議会での検討内容は、その都度、教育委員会ホームページに掲載していきますので、ぜひご覧ください。

訂正とおわび

設置協議会ニュース第5号の4ページ目、「3校の校名の変遷」の新泉小学校の記事ですが、「昭和7年 東京市新泉尋常小学校と校名変更」、「昭和16年 東京都新泉国民学校と校名変更」の誤りでした。

新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース(第6号)

平成25年3月発行

杉並区教育委員会事務局学校支援課計画調整担当

TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp

※ 協議会の会議録は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置協議会ニュース 第7号

(仮称)杉並和泉学園は、平成27年4月に区内で初となる新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校からなる『施設一体型小中一貫教育校』として、現在の和泉小学校と和泉中学校の校地に新たに開校します。



学園歌・学園章について

杉並和泉学園の開校に伴い、現在の各校の校歌・校章に代わる学園歌・学園章を制作することになりました。

学園歌は、調布市立第七中学校の音楽科「山崎朋子(やまざきともこ)」先生に制作をお願いすることになりました。山崎先生は、「大切なもの」「虹を渡って」「桜散る頃」など、小中学校で多く歌われている合唱曲を多数作っておられます。未永く歌い継がれていく学園歌の完成が、今から楽しみです。

学園章については、3校が一体となって誕生する新しい杉並和泉学園のイメージ(地域の特色や新校への思い等)を児童・生徒から募集し、その思いを制作者にお伝えし、依頼したいと考えています。学園歌についても、応募していただいた内容について、歌詞に反映していただけるよう山崎先生にお伝えします。

学園章・学園歌につきまして、ご意見やご提案がございましたら、2月28日(金)までに学校支援課へご連絡ください。(連絡先：裏面)



通学区域について

杉並和泉学園の通学区域は、小学部が新泉小学校と和泉小学校の通学区域を合わせた区域、中学部が和泉中学校の通学区域になります。

施設一体型小中一貫教育校の通学区域については、小学部と中学部の整合性を図る方向で、通学路の安全性や通学距離なども考慮に入れて、引き続き検討していきます。



標準服について

杉並和泉学園の標準服についてどのような扱いをするか、協議会委員の中から、各校の保護者、学校関係者等で構成する標準服検討部会を設置し、計3回ご意見をいただきました。

小学部の標準服について3校の保護者、近隣幼稚園・保育園の保護者を対象にアンケートを実施しました。

アンケートの全回答数のうち6割以上が「導入しなくてよい」という回答を受け、部会で意見交換したところ、小学部については導入せず、中学部の標準服については、和泉中学校の標準服とすることを協議会に報告しました。協議会では、就学前児童や低学年の保護者からは導入を希望する回答が多かったことを考慮し、開校後、再度検討することも必要であるということになりました。



【今年度の協議会委員】

(敬称略)

役職等	氏名		
町会及び自治会代表	宮川 肇	田村 美子	濱野 實
	加藤 倡之亮		
学校支援本部	白滝 一紀	前原 眞智子	吉橋 正美
	伊藤 歩		
保護者	杉本 絵里子	伊藤 美保	松本 利恵
	竹内 恵里香	梅野 ちなみ	小林 智草
	宇津城 晶子	小林 和子	大須賀 栄美
学校関係者	田中 博幸	藤原 聡	長田 恵美子
	梅田 利雄	池田 弘彦	江口 由利子
校長	○木村 恵子	相馬 季子	◎由井 良昌
副校長	小澤 伸生	薩摩 博之	比嘉 朝明
	中島 好招		
学校教育担当部長	玉山 雅夫		

※◎は会長、○は副会長



新泉・和泉地区小中一貫教育校設置協議会ニュース（第7号）

平成26年2月発行

杉並区教育委員会事務局学校支援課計画調整担当

TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp

※ 協議会の会議録は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置懇談会ニュース

第8号



杉並和泉学園は、平成27年4月に区内で初となる新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校からなる『施設一体型小中一貫教育校』として、現在の和泉小学校と和泉中学校の校地に新たに開校します。



小中一貫教育校設置懇談会で、学園章の選定方法、アンケート実施方法及び候補案選定などについてご意見いただきました。アンケートは3校の児童生徒を対象に学園章のイメージを募集して465件の応募がありました。応募のあったアンケートのイメージから12点のデザイン案を制作し、その中から以下のデザインが、新校に対する思いが集約されているという懇談会の意見を踏まえ、杉並和泉学園の学園章とすることを決定いたしました。

今後、この学園章は新泉和泉小学校と和泉中学校の統一した校章として使用します。

<杉並和泉学園の学園章>



<デザインのイメージ>

- ・ 新しく生まれる学園は伝統的な校章の形に囚われず、小中一貫教育という新しい教育にふさわしい形をイメージ
- ・ 上部の「冠」は「泉」に落ちた雫が広がった「ミルククラウン」をイメージ、9つの突起は小中9年間を象徴
- ・ 左右に取り巻くパターンは「泉」が湧き出る水しぶきをイメージ
- ・ 「IZUMI」の下の3つの矢印が合体した形は、3校が一つになり一貫教育校として進んでいく想いと、両手を広げて健やかに育つ児童生徒をイメージ



地域資料コーナーについて

新校舎の2階に「ラーニングセンター」という広いスペースがあります。ここは、小・中学校の図書館、パソコンルーム、地域の歴史を展示する地域資料コーナーが一体になった学びの拠点となります。この新しい学校の中心的な場所に設けられた地域資料コーナーには、各学校の卒業制作や記念品等、新校へ持ち込む事が難しい物や各学校・地域の歴史、昔の給食や遊び等を映像化して展示します。

開校後は、地域と学校が協働して、これまでの3校の歴史を新校へと繋ぎ、発展させていけるよう活用していくことになります。

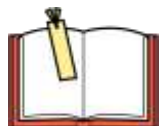
平成27年4月に杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育設置協議会設置要綱を改正し、「杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会」に名称を変更しました。

【今年度の懇談会委員】

(敬称略)

役職等	氏名		
町会及び自治会代表	宮川 肇	田村 美子	濱野 實
	加藤 倡之亮		
学校支援本部	白滝 一紀	前原 眞智子	吉橋 正美
	伊藤 歩		
保護者	新井 仁美	増田 結子	久保田 知子
	神藤 桂子	高森 愛子	加藤 由美
	杉本 絵里子	伊藤 美保	大須賀 栄美
学校関係者	田中 博幸	藤原 聡	長田 恵美子
	梅田 利雄	池田 弘彦	江口 由利子
校長	○木村 恵子	相馬 季子	◎由井 良昌
副校長	小澤 伸生	薩摩 博之	比嘉 朝明
学校教育担当部長	和久井 義久		

(◎ 会長 ○ 副会長)



☆懇談会での検討内容は、その都度、教育委員会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会ニュース(第8号)

平成26年11月発行

杉並区教育委員会事務局学校支援課計画調整担当

TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp

※ 協議会の会議録は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>

通学路について

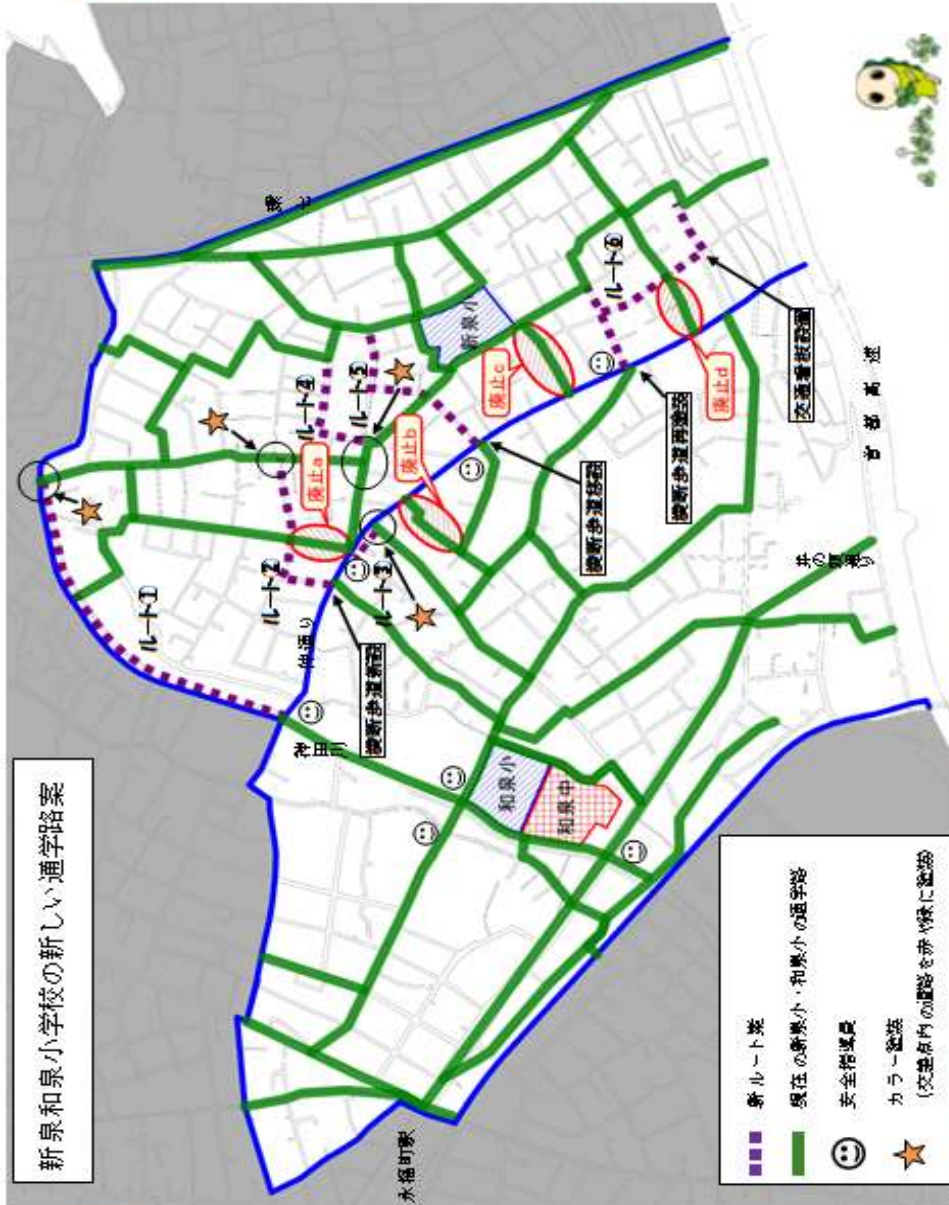
平成27年4月、杉並和泉学園の開校に伴い、新たに小学部（新泉和泉小学校）の通学路を定める必要があります。

そのため懇談会のもとに、PTAを中心とした通学路検討部会を7月に設置しました。高井戸警察署や区土木部にも協力いただき、実際に通学路を歩き危険箇所等の確認を行うなど、新しい通学路に対するご意見をいただきました。その結果、現在の新泉小学校と和泉小学校の通学路を基本に新たに6ルート、4ヶ所を廃止して新しい学校の通学路案が決まりました。

なお、今後も状況の変化に応じて、道路標識の設置や通学安全指導員の配置等通学路の安全対策について保護者、学校、教育委員会で協議、対応していきます。



新泉和泉小学校の新しい通学路案



新ルート案について

通学路は、交通の安全と防犯の安全の両方を考慮し、車両通行が少なく、見通しのよい道、車両通行の多い併走りは横断箇所を限定するなど、新たに5つのルートを追加しました。

新泉和泉小学校の新しい通学路での児童の通学については、保護者・地域の方には見守り等、ご指導・ご協力をお願いします。

廃止案について

現在の通学路のうち4ヶ所の廃止を予定します。新泉小学校と和泉小学校の現在の通学路が接続がでない道や道幅の狭い道等を廃止対象としております。



新泉・和泉地区小中一貫教育校 設置懇談会ニュース

最終号



区内で初となる施設一体型小中一貫教育校「杉並和泉学園」
が、まもなく開校します。

新泉小学校・和泉小学校・和泉中学校からなる小中一貫教育校の開校に向けて、設置懇談会では4年5か月の長きにわたり、新校舎設計の検討、学園名、学園章、学園歌、通学路、教育方針などの意見交換をしてまいりました。委員の皆様には、毎回、子どもたちにとって望ましい教育環境などの視点から熱心にご議論いただき、本当にありがとうございました。

区内初の小中一貫教育校「杉並和泉学園」開校の準備が整い、第28回(12月17日)をもって設置懇談会は終了しました。設置懇談会ニュースは今号が最終号となります。

杉並和泉学園が地域に根ざした学校として発展することができますよう、これからも地域の皆様とともに歩んでまいります。今後ともご支援ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

学園歌が完成しました



小学1年生から中学3年生までの9年間を通して歌う学園歌ができました。作詞・作曲は、調布市立第七中学校の音楽教諭である山崎朋子さんです。美しい水のもとに生きる子どもたちがすてきな人へと成長してほしいという願いを込めて作っていただきました。

緑眩しい 和泉のふもと
広がる青空 流れる小川
希望の歌よ 高らかに
空まで届け 思いのせて

今 生きている私たちは
果てしなく つながる時の中で
今 生きている私たちは
ここに生まれて ここで生きている

笑顔あふれる 和泉の校舎
深まる友情 手と手をつなぎ
夢を語ろう 輝ける
未来へ向かい 歩き出そう

今 生きている私たちは
遥かなる山脈 仰ぎながら
今 生きている私たちは
共に進もう 新しい明日へ

共に歩もう 新しい明日へ



杉並和泉学園学園歌

今 生きている私たちは

作詞・作曲 山崎朋子

設置懇談会（最終）



平成 26 年 12 月 17 日に開催した第 28 回設置懇談会では、これまで議論してまいりました内容をまとめた設置懇談会記録について意見交換しました。記録の内容は、学園名決定の経緯、基本設計、学園章、学園歌、通学路などについての意見を記すとともに、学園章や標準服に対するアンケート結果などを資料編としてまとめています。記録は、2月中に杉並区教育委員会のホームページに掲載します。

★設置懇談会の最終回にあたり、各委員からこれまでの感想が述べられました。

- ・ 開校が目前となり達成感はありますが、考えてみれば、これからがスタートです。様々見えてくる課題もあるかと思いますが、今後もバックアップしていきたいです。
- ・ 別々だった3校が、小中一貫教育を始め、学校支援本部が一つになり、自然と徐々に連携がとれて、いい関係になっていきました。立派なハードができ、そこにソフト面が備わって開校を迎えられることが楽しみです。
- ・ これまでいろんな話題が出て、議論が出て、ぶつかり合うこともありましたが、それは委員の皆様がよりよい学校をつくりたいという情熱だったと思います。本当にいい学校へと成長していくよう地域で応援していきます。
- ・ 記録を拝見しても、これまで学校・地域・保護者・行政の方が丁寧に議論してきたのが伝わってきます。新泉・和泉地区の子どもたちは本当に幸せだと思います。
- ・ 現役保護者としては、これだけの時間をかけて話し合っただき、ありがたく思います。保護者ならではの新校に対する期待や不安を沢山聞いています。是非、よりよい学校にしていくため、皆様のご協力、今後ともよろしくお願いいたします。



設置懇談会委員

新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会ニュース(最終号)

平成 27 年 1 月発行

杉並区教育委員会事務局学校支援課計画調整担当

TEL 03-3312-2111(代表) FAX 03-5307-0692

Eメール gakko-sien@city.suginami.lg.jp

※ 協議会の会議録は、教育委員会ホームページに掲載しています。

教育委員会ホームページ <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp>



□杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会運営要綱

平成22年6月1日

杉教第2327号

改正 平成23年8月1日杉教第5081号 平成24年3月26日杉教第12991号
平成25年5月8日杉教第1423号 平成26年3月24日杉教第11943号

(趣旨)

第1条 この要綱は、杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会（以下「懇談会」という。）の運営に関し必要な事項について定めるものとする。

(目的)

第2条 懇談会は、杉並区立新泉小学校（以下「新泉小学校」という。）及び杉並区立和泉小学校（以下「和泉小学校」という。）及び杉並区立和泉中学校（以下「和泉中学校」という。）による施設一体型の小中一貫教育校の開校に関し、次の各号に掲げる事項について、広く意見を聴くことを目的とする。

- (1) 小中一貫教育校の内容に関する事。
- (2) 小中一貫教育校の校舎建設及び施設整備に関する事。
- (3) その他開校の準備に関する必要な事項

(構成)

第3条 懇談会は、次に掲げる者をもって構成する。

- (1) 新泉小学校校長
- (2) 和泉小学校校長
- (3) 和泉中学校校長
- (4) 新泉小学校副校長
- (5) 和泉小学校副校長
- (6) 和泉中学校副校長
- (7) 学校支援本部の代表 4名以内
- (8) 新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の通学区域内に存する町会及び自治会の代表 4名以内
- (9) 新泉小学校保護者 3名
- (10) 和泉小学校保護者 3名
- (11) 和泉中学校保護者 3名
- (12) 新泉小学校、和泉小学校及び和泉中学校の学校関係者 6名
- (13) 教育委員会事務局学校教育担当部長

(会長及び副会長)

第4条 懇談会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長は、和泉中学校校長をもって充てる
- 3 会長は、懇談会を進行する。
- 4 副会長は、新泉小学校校長をもって充てる。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(運営)

第5条 懇談会は、教育委員会事務局教育担当部長が開催する。

2 教育委員会事務局教育担当部長は、必要があると認めたときは、第3条で掲げる者以外の者の出席を求め、意見を聴き、又は説明を求めることができる。

3 懇談会は、平成27年3月31日までの期間において、必要に応じて開催する。

(会議の公開)

第6条 懇談会の会議は公開とする。ただし、教育委員会事務局教育担当部長が必要に応じて非公開とすることができる。

(庶務)

第7条 懇談会の庶務は、教育委員会事務局学校支援課において処理する。

(委任)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇談会の運営に関し必要な事項は、教育委員会事務局教育担当部長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成22年6月1日から施行する。

附 則 (平成25年5月8日杉教第1423号)

この要綱は、平成25年4月1日から適用する。

附 則 (平成26年3月24日杉教第11943号)

この要綱は、平成26年4月1日から施行する。

□新泉・和泉地区小中一貫教育校設置懇談会委員名簿

	所 属	役 職 等	氏 名	備 考
会 長	和泉中学校	校 長	由井 良昌	
副会長	新泉小学校		鶴巻 景子	平成 24 年 3 月 31 日まで
			木村 恵子	平成 24 年 4 月 1 日から
委 員	和泉小学校		相馬 季子	
〃	新泉小学校	副校長	田邊 克宣	平成 23 年 3 月 31 日まで
〃			小澤 伸生	平成 23 年 4 月 1 日から
〃	和泉小学校		佐野 篤	平成 25 年 3 月 31 日まで
〃			薩摩 博之	平成 25 年 4 月 1 日から
〃	和泉中学校		比嘉 朝明	
〃			中島 好招	平成 26 年 3 月 31 日まで
〃	新泉小学校 和泉小学校 和泉中学校	町会及び 自治会代表	宮川 肇	
〃			田村 美子	平成 23 年 8 月 1 日から
〃			内藤 一郎	平成 25 年 6 月 30 日まで
〃			濱野 實	平成 25 年 7 月 1 日から
〃			大野 博康	平成 23 年 3 月 31 日まで
〃			加藤 倡之亮	平成 23 年 4 月 1 日から
〃		学校支援本部	白滝 一紀	
〃			前原 眞智子	
〃			吉橋 正美	
〃			伊藤 歩	
〃	新泉小学校	保護者	佐川 智子	平成 24 年 3 月 31 日まで
〃			井上 眞弓	平成 24 年 3 月 31 日まで
〃			小山 資奈子	平成 23 年 3 月 31 日まで
〃			加賀美 桜子	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで

	所 属	役 職 等	氏 名	備 考
委員	新泉小学校	保護者	峰尾 美弥子	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで
〃			竹内 恵理香	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
〃			宇津城 晶子	平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
〃			杉本 絵里子	平成 25 年 4 月 1 日から
〃			新井 仁美	平成 26 年 4 月 1 日から
〃			神藤 桂子	平成 26 年 4 月 1 日から
〃	和泉小学校		川原 玲子	平成 23 年 3 月 31 日まで
〃			智原 真弓	平成 23 年 3 月 31 日まで
〃			松岡 智子	平成 23 年 3 月 31 日まで
〃			拇野 ちなみ	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
〃			芋川 由起子	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 24 年 3 月 31 日まで
〃			鈴木 恭子	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 24 年 3 月 31 日まで
〃			小俣 梢	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで
〃			小林 和子	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
〃			伊藤 美保	平成 25 年 4 月 1 日から
〃			増田 結子	平成 26 年 4 月 1 日から
〃			高森 愛子	平成 26 年 4 月 1 日から
〃			和泉中学校	高橋 真実
〃	岡本 千恵子			平成 23 年 3 月 31 日まで
〃	久保田 知子			平成 24 年 3 月 31 日まで 平成 26 年 4 月 1 日から
〃	羽鳥 敦子	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 24 年 3 月 31 日まで		

	所 属	役 職 等	氏 名	備 考
委 員	和泉中学校	保護者	田附 千賀子	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日まで
〃			小林 智草	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日から
〃			松本 利恵	平成 25 年 4 月 1 日から 平成 26 年 3 月 31 日まで
〃			大須賀 栄美	平成 25 年 4 月 1 日から
〃			加藤 由美	平成 26 年 4 月 1 日から
〃	新泉小学校	学校関係者	田中 博幸	
〃			梅田 利雄	(平成 23 年 7 月 31 日まで は町会及び自治会代表)
〃	和泉小学校		藤原 聡	
〃			池田 弘彦	平成 23 年 4 月 1 日から
〃	和泉中学校		江口 由利子	(平成 23 年 4 月 1 日から 平成 25 年 3 月 31 日までは 保護者)
〃		長田 恵美子		
〃	教育委員会 事 務 局	教育改革担当部長	渡辺 均	平成 24 年 3 月 31 日まで
〃		学校教育担当部長	玉山 雅夫	平成 24 年 4 月 1 日から 平成 26 年 6 月 30 日まで
〃			和久井 義久	平成 26 年 7 月 1 日から

杉並区立新泉・和泉地区小中一貫教育校の開校に向けて
設置懇談会記録

平成 26 年度版

平成 27 年 1 月発行

編集・発行 杉並区教育委員会事務局
学校支援課計画調整担当

〒166-8570 杉並区阿佐谷南一丁目 15 番 1 号

TEL (03)3312-2111 (代)

登録印刷物番号

26-